

全日中事務局だより

▼本年度をもって御勇退される皆様、本会活動の御理解・御協力ありがとうございました。ますますの御活躍をこころよりお祈り申し上げます。

▼第3回理事会情報交換概要報告

1月22日第3回理事会後半、全国を6ブロックに分け、情報交換をしました。全体会では、数多くの課題について発表されましたが、紙面の都合により工夫点や、特色ある取組についてまとめましたので、御活用ください。

▼「働き方改革」に有効な人材活用の事例と人材確保における工夫

◎「働き方改革」に有効な人材活用の取組では、▽学校生活サポートが部活指導員、給食従業員がスクール・サポート・スタッフというように、兼職した形で活用されている。▽県費負担教職員退職者等人材活用事業を新規に立ち上げ、再任用を希望しない退職教

員を活用し、部活動指導員や自学自習等の補助、学校関連事業の補助等、学校運営上の補助業務を担えるようしている。▽再任用短時間勤務職員を不登校支援、別室登校生徒の対応等で加配職員として活用するなどの工夫がされている。

◎「働き方改革」に有効な人材確保については、どのブロックも総じて非常に苦労している。しかし、その中で工夫点としては、▽人材バンクを県教委や市教委で作成し臨時的に配置する。▽コミュニティ・スクールの推進や地域コーディネーターの人的ネットワークを生かし人材バンクに登録する等により確保をしている。▽地域の卒業生、PTA(保護者)、退職教員、シルバール材、大学生、講師をボランティアという形で学校関係者とのつながりの中で確保している。▽人選の権限を校長に与える仕組みを構築し、市の広報やツイッター、ホームページ、ハローワー

ク、市教委との連携で募集し確保をしている。▽市町村への支援加配という形で、年度途中の急な産休や育休を想定し、予め市町村へ、県が余分に加配をつけ、急に必要になった学校へ穴埋めするといった加配の工夫が話題になった。

▼GIGAスクール構想におけるPC活用やICT機器の活用などによる業務の効率化の実践事例及び業務分担・整備の具体例

◎業務の効率化の実践事例及び業務分担・整備の具体例については、▽基本的には教職員がスキルを高めていく必要がある。そのため教職員の活用の機会を増やし、会議のペーパーレス化、短縮化、情報共有化で業務の効率化に結びつける。▽生徒に関わるアンケート、健康観察等、一斉メール送信し、紙から電子に変わり短時間で配信する。▽授業ではきめ細やかな指導やグループ学習の効率化を図っている。I

C T の配置により、ソフト活用で授業が充実している。▽校務処理のデータを共有化し、事務作業の負担軽減を進めている。統合型の校務支援システムの開発と活用で効率化を図っている。

▽ICT支援員を配置し役職を付けて推進役になり、ICT化が可能な業務内容や業務改善ツールの開発を検討している。▽管理職対象のオンライン研修等、先進校の授業公開による実践研修等も行っている。オンライン会議等による出張の削減。▽パソコンを利用したZoom等の使用可能（インターネットの接続環境を改善）としている。それに伴って移動時間の短縮等の負担軽減となっている。

▼「休日の部活動を段階的に地域移行」するための解決策について

◎ここでも多くの課題が発表されましたが、解決策や実践例のみを報告します。▽中体連と全国大会へつながる大会の見直しを進めるとともに、生徒、

保護者や地域の方々には部活動を地域に移行することに、理解が得られる手立が必要である。▽併せて予算の確保。教員が引き続きする指導する場合の兼職の許可は、行政が早急に進めていく必要がある。▽当該の教育委員会が主導して地域部活動へ移行することを検討し、指定管理を担っていく。▽中学

部活動支援事業を立ち上げ進めているところもある。▽教育的な指導ができる指導者等で、指導の連続性などを含めて、関係者全体で指導内容を共有し、理解する必要がある。▽県の体育協会やスポーツ少年団などの社会体育団体との柔軟な協議が必要で中体連、協会などを巻き込んだ調整が必要である。▽中体連主催で行われる県・ブロック大会、全国大会等が、学校対抗ではなくチーム対抗で行われるよう制度改革が必要だ。基本的には、総合型地域スポーツクラブ等の受け皿づくりが急務である。▽学校や地域単位ではなく、

行政単位で統一していかないといけないのではないか。中体連や協会の大会、コンクールへの参加やそのものの在り方についても、どこかで線引きをする必要がある。▽中学校地域クラブを教育委員会が主体で立ち上げ、保護者や地域の方に代表になってもらい、学校は関わらない形で、部活動を地域総合型クラブへ移行する実践例が報告された。▽競技種目を近隣校に割り当てて、拠点校方式で、部活動の統廃合を踏まえ実施する案も出された。

会員計報

北海道江別市立江別第一中学校長
新田 元紀様 六十歳 一月三十一日
愛知県豊田市立猿投台中学校長
加藤 康人様 六十歳 一月二日

ここに謹んでお悔やみ申し上げ、御冥福をお祈り申し上げます。

(事務局長 松澤 宏尚)